

東 一 郎 家 (小 山 浦) 文 書

(採訪時住所 三重県北牟婁郡紀北町)

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考	整理番号
1	明治 5	1872	申		6	吉	地引網諸入用勘定帳			横帳	1		23
2	明治11	1878	寅		1		浜人別覚帳	林浦善吉		横帳	1	表紙裏に名前と屋号の記入あり	9
3	1 明治14	1881			旧正	吉	元網諸入費覚簿 大元支配	濱安右衛門所		横帳	1		30 2
3	2 明治14	1881	巳		2	吉	大漁地引網諸日雇日記帳	船頭 川端善吉		横帳	1		30 1
4	明治14	1881	巳		3	吉	網日用引本人別指引勘定帳	大元 浜安右衛門所		横帳	1		16
5	明治14	1881	巳		4	5	大漁千円祝諸入費附込帳	網株十三人 大元浜安右衛門所		横帳	1		19
5	1				4	29	記（白餅米1斗9升代, 2円94銭5厘につき）	伊藤善右衛門	小山 元右衛門様	切紙	1	5の綴紐に括られている。紙の色が薄紫色である	19 1
5	2				5	2	証（椎茸, 水豆腐他代金, 90銭9厘受取につき）	伊藤善右衛門	小山 大網中様	切継紙	1	5の1丁目に挟まれている	19 2
6	明治16	1883	未		旧正	2	諸入費網代船代勘定帳	大元 川端喜助		横帳	1	朱書あり	11
7	明治17	1884	申		9	吉	元網日雇人別差引勘定帳	大元 東美之助氏		横帳	1		12
8	明治18	1885	酉		6	25	諸日小入用覚帳 甲二（朱）	大元 川端儀兵衛代		横帳	1	朱書あり	15

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考	整理番号	
9	明治18	1885	酉		6	25	甲三（朱） 諸日雇指引勘定覚帳	元網大元 川端儀兵衛代		横帳	1	朱書あり	17	
10	明治18	1885	酉		6	25	甲一（朱） 金銭受払勘定帳	元網大元 川端儀兵衛代		横帳	1		18	
11	明治20	1887			旧4		明治廿年旧四月勘定日雇並ニ貨物覚帳 乙二（朱）	大元 川端儀兵衛代		横帳	1		13	
12	明治20	1887			旧4		明治廿年旧四月勘定 金銭並米貨物帳 乙三（朱）	大元 川端亀治郎代		横帳	1		14	
13	明治20	1887			旧9		金銭請払計算帳	小山浦元網		横帳	1		20	
14	明治21	1888			2		金銭並二入費請払勘定帳	元網大元 濱安右衛門代		横帳	1		21	
15	明治23	1890	寅		3	吉辰	漁金代割帳	紀伊国北牟婁郡小山浦 元網連中		横帳	1		31	
16	明治23	1890	寅		9	28	鯰網収支勘定帳	元網□□（大元カ）		横帳	1	「覚」2通貼付。左下一部欠損	22	
16	1		巳		7		覚（諸品代, 19円17銭6厘につき）	伊藤口（白カ）屋	元網取締 東己之助様	切継紙	1	16に括られている	22	1
16	2				8	23	覚（諸品代, 19円17銭6厘受取につき）	伊藤善右衛門印	元網取締 東己之助様	切紙	1	16に括られている。「紀伊国牟婁郡引本浦伊善」の印あり	22	2
17	明治25	1892			11		金銭請払計算帳 自廿四年十月卅至廿五年九月十五日迄	元網大元 濱安右衛門		横帳	1		28	

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考	整理番号
18	1 明治26	1893	巳		9		網連中日用覚帳			横帳	1		26 1
18	2 明治27	1894	午		9		小納勘定帳	大元 川端善吉代		横帳	1		26 2
19	明治26	1893					自明治二十五年月至同廿六年月 漁得金請払勘定牒	小山浦原網取締取扱		横帳	1		27
20	明治27	1894			旧9		廿八年旧六月計算大元川端徳助代 自明治廿七年旧九月至同廿八年全四月 請払勘定帳	小山浦元網中		横帳	1		25
21	明治27	1894	午		9	吉祥	漁得金請払勘定帳	大元 川端善吉代		横帳	1		29
22	明治28	1895			1	大吉	小山元網寺代控 大元並船頭中	大元 川端徳助, 大元 川端亀治郎		横半帳	1	「紀伊（屋号）北牟婁郡元網 小山浦」の印あり	1
23	明治28	1895			5	吉	漁金代割帳	元網中 川端徳助代		横帳	1		24
24	明治29	1896			11		自明治廿九年拾壹月至同参拾年拾二月 請払計算帳	大元 川端亀治郎代		横帳	1		2
25	明治29	1896			12	2	通帳（附込期限 明治29年12月～同30年11月）	伊藤商店	元網大元御中	横半帳	1	裏表紙に「引本浦（屋号）商店」とあり。証券印紙（壹銭分）の貼付あり	3
26	明治30	1897			12		造船祝到来品覚帳	元網大元 川端亀治郎代		横帳	1		4
27	明治31	1898			2	吉	漁銀通	魚市場	元網御中	横半帳	1	「小山 魚市場」の印あり	10

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考	整理番号
28	明治32	1899			旧2	吉	諸日雇附込覚帳	元網大元 浜安右衛門所		横帳	1		8
29	1 明治33	1900			旧9	27	明治参拾参年旧九月廿七日ヨリ漁夫日傭覚帳	元網大元 川端久兵衛		横帳	1	29-3に綴られている	7 2
29	2 明治33	1900			旧9		明治三拾三年旧九月株主網掛日傭覚帳其他乗手船頭	元網大元 川端久兵衛		横帳	1	29-3に綴られている	7 3
29	3 明治34	1901			旧3		三十三年旧九月ヨリ三十四年旧九月至ル満壱ケ年間明治参拾四年旧三月計算並二九月計算帳	大元 川端久兵衛代		横帳	1		7 1
30	1 明治34	1901	丑		5	吉	漁夫日雇帳			横帳	1	30-2に綴られている	6 2
30	2 明治35	1902			旧3		三十四年旧九月ヨリ三十五年旧九月ニ至ル満壱ケ年間明治三拾五年旧三月計算並二九月計算帳	元網大元 川端安吉代		横帳	1	表紙に22と同じ印あり	6 1
31	明治35	1902			9		明治参拾五年九月ヨリ同参拾六年九月迄 支取計算帳	元網大元 川端亀治郎代		横帳	1		5

解題 東一郎家（小山浦）文書

－史料の概要と特色－

本史料群は、水産資料館を経て中央水産研究所図書資料館に収蔵されるまで、一貫して「小山浦文書」の名が与えられていたが、『漁業制度資料目録 第1集 全国篇Ⅰ』（日本常民文化研究所・水産庁資料整備委員会、1950年3月）に三重県北牟婁郡紀北町の小山浦で採訪した「東一郎家文書」の目録が掲載されており、その内容は本史料群と同一である。ここでは「東一郎家文書」とする。昭和25年の4月に調査員の速水融によって採訪され、前記の資料目録に掲載された後、水産資料館に収蔵されたものと思われる。

小山浦は熊野灘に面した銚子川河口付近に位置しており、中世には伊勢神宮領の小山御園と呼ばれ、近世以降は紀州藩領牟婁郡小山村となった。寛永期に鯛網がはじまり、引本浦と争ったという（『角川日本地名大辞典 24 三重県』）。

本史料群の最も古い史料は明治5（1872）年、最も新しい史料は明治36（1902）年で、総点数は40点である。内容は明治期の鯛地引網漁に関連する諸帳簿で、「元網中 川端亀治郎」等の署名があり、鯛網の網元川端家に伝来した明治期の鯛地引網経営に関連した史料である。

（文責 越智信也）